



中山間地域における農地保全と地域社会の関係に関する 地域連携教育と研究

自然科学研究科・生物資源科学部 准教授 保永 展利 YASUNAGA Nobuyoshi

保永研究室（農業経済・地域経済学）では、条件不利地域（主に中山間地域）の農地保全・地域社会・地域経済の相互関係や持続性の解明、またその再構築に関する研究を行っています。これまで15年以上にわたり現場でのフィールドワークを通じた実態解明などに力を注いできました。近年はさらに、地域社会（農業集落）と連携した教育研究活動として、農地保全に関するインターンシップなどに参画して、地域をサポートしながら研究しています。これは、大学生が中山間地域の集落の農地保全の取り組みに参加して地域住民と一緒に農作業やイベント活動などに取り組むというものです。

以上の活動を通じて、参加学生には中山間地域農業の現状を知ってもらうとともに農村社会の現状、農業政策・地域政策の現場での影響、国土保全・都市と農村のあり方などを経験的に理解してもらうこと、またこの活動から、学生の独自の研究活動につなげていくことや新たな地域づくりにつながるような大学と地域との連携活動に波及することを期待しながら取り組んでいます。

